

目標達成計画

作成日：平成 31 年 4 月 15 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	16	スピーチロックによる、精神的、身体的に拘束していることを、気が付かずに、日常に業務の中で、頻回に使用している	身体拘束の再確認、不適切な言葉かけになっていないか、職員間での相互のチェックをしながら、意識の向上を目指す	不適切な、言葉かけや、態度などに、なっていないか、職員間で、常に、確認しあい、スピーチロックの場合は、用紙に記入し、定期的に職員会議で、反省会を行い、または、外部の接遇の研修など、参加しレポート提出など、実施する	2ヶ月
2	36	運営推進会議が定期的に行われていない	今後は、定期的に行う	地域包括支援センター、町内会長、民生委員、行政など、連絡行い、入居者様、家族など、参加していただき、認知症の理解を深めてもらい、地域との連携や、交流を図れるようにする	2ヶ月
3	35	運営の基本方針を、忘れていたので、再確認し、運営理念と、基本方針を常に忘れずに、日々業務に励みたい	入居者様の人格や誇り、尊厳を守り、安心して、穏やかに生活されるよう心掛ける、その人らしく生きがいを持って生活されるよう、支援する	定期的なフロア会議、職員会議など、その都度議題にあげ、入居者様一人一人、ニーズに誠実に対応できるよう再確認しながら、理念や、基本方針など、見失うようなことがないように心がける	2ヶ月
4		食後のトイレ使用についてトイレを待たせない我慢させない配慮がかけられている プライバシーの配慮に欠け排泄の有無を大きな声でスタッフが聞いている	排泄の訴えのある時に「待っていて！他の人が入っている」、「ちょっと、待って」等言わずそれぞれの入居者様に対し「便の有無」を個別に聞く際も大きな声で聴かず、見守りし、しぐさや、態度で確認する	それぞれのスタッフの考えを統一していく。プライベート保持を守っていく。3か所のトイレを活用し、入居者様が気を使わないよう、スタッフが終始利用者様の行動や様子を見守っていく	2ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。